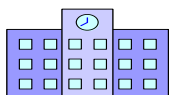


学校だより 第 4号 令和3年7月1日(木)

学校教育目標：自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成



きざき



— 笑顔いっぱい 夢いっぱい

力いっぱい —

TEL048-831-2281

URL <http://kizaki-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail [kizaki-e@saitama-city.ed.jp](mailto:kizaki-e@saitama-city.ed.jp)



さいたま市立木崎小学校

## 『あいさつ』に隠された3つの魅力

～ 豊かな心で楽しい夏休みを ～

校長 逸見 修治

梅雨の合間の陽射しには夏の訪れが感じられ、校庭の樹木は緑を一層濃くし、枝いっぱいに葉っぱを茂らせています。そんな中で子どもたちの笑顔はますます輝きを放っています。

さて、去る5月27日(木)～29日(土)、大勢の保護者の皆様のお見送りの下、5年生は2泊3日で館岩自然の教室を実施しました。初日は日没まで雨模様でしたが、その後は天候に恵まれ、ナイトハイクや前山登山、キャンプファイヤーなど、順調にすべての野外活動を行うことができました。室長・活動班長、レク係の進行はもちろん、食事や清掃など生活全般にわたって係の子が中心となって行いました。仲間と協力すること、分担した役割に責任をもつことなど、生活体験を通して成長し、退所式ではキリッとした表情と立派な態度で臨むことができました。6月23日(水)には、6年生が群馬県の富岡製糸場に社会科見学に行ってきました。さすが最高学年らしく、ガイドさんの話をしっかり聴きながら、積極的に質問して学びを深めていました。一般客も多数いる中で、しっかりと公共性を発揮して立派な態度で見学できました。昨年度はコロナ禍で校外学習は中止となってしまいましたが、それぞれの施設における感染防止対策のおかげと、コロナ対策のマニュアルやガイドラインに基づいて活動することで、本年度は実施することができました。改めて校外学習の価値を確認することもできました。保護者の皆様には、ご理解ご協力をいただきましたことに改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

学校では、年間重点目標に「気持ちのよいあいさつ」を掲げ、「いつでも どこでも だれとでも なんとでも」気持ちのよいあいさつができるよう指導を継続しております。礼儀の基本であるあいさつが交わし合える木崎小学校であれば、子どもたちの心と心が結びつき、いじめを許さない心も築いていけるはずです。本校の「いじめ撲滅強化月間」は終わりましたが、今後も「いじめはならぬもの」という毅然とした指導と、豊かな心をはぐくむ指導を積み重ねていく取組の一つとして、「あいさつ運動」を根幹とし、子どもたちの心に、互いを思いやり、助け合っていく心をしっかり根付かせていきたいと考えております。

あいさつは防犯にもつながります。子どもの周りにあいさつを交わす地域の存在があると、「この地域の子どもは多くの人目の見守られている」と感じるからか、その地域における犯罪件数が少ない傾向があるということです。あいさつを交わすことで、子どもたちの豊かな心が育まれ、防犯体制が強化されるのです。更には防犯ボランティアである地域の方には、子どもからの「あいさつパワー」が提供できるのです。ボランティアの方はそれが嬉しくて暑い日も、風雨の中でも通学路に立ってくださっています。このように1つのあいさつに3つの魅力が隠れているのです。なんて素晴らしいことでしょうか。

夏休みは家族で過ごす十分な時間があります。ご家庭での「おはよう」「いってきます」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつを引き続きお願いいたします。そして、防犯の夏にするためにも、ご近所の顔見知りや馴染みの大人との積極的な挨拶を交わし合ってほしいと願います。是非、保護者の皆様、地域の皆様にも、今まで同様、子どもたちへのあいさつや声掛けをお願いします。